

カリキュラムの変更により

現代家政学科は令和5（2023）年入学生より

指定科目を修得すると、卒業と同時に、二級建築士に加え

一級建築士受験資格が得られる予定です

※免許登録には実務経験3年（最短）が必要です



一級建築士とは

建築士の主な仕事の1つに設計図書の作成があります。

設計できる建物の規模等によって「一級建築士」「二級建築士」「木造建築士」に分けられています。多くの人が集まる施設や一定規模以上の建物は一級建築士しか設計業務を行うことができません。また建築士は国家資格であり、資格を取得している人だけが従事可能な業務独占資格で、専門性が高く就職や転職に有利です。

令和4年度入学生まで

卒業と同時に二級建築士の受験資格を取得

二級建築士の資格取得後4年以上の実務経験を積むと、一級建築士の受験資格を取得

令和5年度入学生から

本学科卒業と同時に、二級建築士に加え、一級建築士の受験資格が得られる新カリキュラム
若いうちに資格を取得することで、いろいろな可能性が広がります

卒業と同時に一級建築士試験の受験ができるため、学生の時に試験準備が可能です。



大学卒業後に一級建築士免許を取得する場合

住関連の仕事で活躍できます

卒業後の先輩方はハウスメーカーや工務店等において設計、営業設計、工事監理の仕事で活躍しています。